

平成 30 年度 木祖村ふるさと納税報告書

ご寄附をいただいた皆様へ

このたびは全国各地の皆様から長野県木祖村へふるさと納税のご寄附を賜りまして誠にありがとうございました。村民を代表し、深く感謝申し上げます。

平成30年度は660名の皆様から12,164,500円のご寄附をいただき、平成20年度の制度開始以来、総額で4389万6508円となりました。お寄せいただきました貴重な寄附金は、木曽川源流の里木祖村の進める源流の里づくりに活用させていただきました。

今回、全国の皆様の御厚意によるふるさと納税寄附金がどのように使われているかご説明させていただきます。多くのご意見をお寄せいただき、皆様とともにおらづくりを進めていく所存でございますので今後ともよろしくお願い申し上げます。

令和元年6月

木祖村長 唐澤 一寛

平成30年度 寄附の状況

◆合計金額 12,164,500円

◆寄付件数

個人 660件

◆使途別内訳

使 途	件数	金額（円）
① 森林整備・水源涵養・自然環境・景観の保全	289	5,581,000
② 高齢者福祉、医療・健康推進の充実	73	1,367,000
③ 美しく豊かな自然環境と魅力的な景観づくり	63	1,217,000
④ ふるさとの伝統と文化を守る	83	1,466,000
⑤ 産業振興	43	647,500
⑥ 村づくり全般	109	1,886,000
計	660	12,164,500

寄附の使途

下記の事業の一部に皆様からのご寄附を充当させていただきました。

◆森林整備・水源涵養・自然環境・景観の保全

【公有林整備事業事業】

現在木曽郡の森林整備においては、木曽川の上下流交流をきっかけとし、上下流域住民が一体となり水源地域の森林を整備し、健全な水環境社会の構築に向けた取り組みを行なうため、木曽広域連合（木祖村を含む木曽郡 6 か町村で構成）と愛知中部水道企業団（愛知県中部の 2 市 3 町で構成）の間で、平成 15 年に木曽川「水源の森」森林整備協定を締結し、これを機に上流も下流も住民が使用する水道水 1 立方メートルにつき 1 円を積み立てた基金（下流域の「水道水源環境保全基金」と上流域の「木曽森林保全基金」）を活用して、平成 17 年度から木曽地域の森林整備（間伐、路網整備、鳥獣被害対策等）を進めています。平成 30 年度までの 14 年間に、約 10,500ha の民有林が整備され、順調に「水源の森」づくりが進んできています。

特に村有林については、国や県の補助金をはじめ、皆様からご支援いただきました「ふるさと納税寄付金」を活用させていただき、搬出間伐等を実施させていただいております。

30 年度は、下記のとおり搬出間伐と除伐作業に活用させていただきました。

今後もさらに森林整備を進め、皆様と一緒に、山を守り、森を守り、水を守っていく所存でございますので今後とも何卒本村をよろしくお願い申し上げます。

平成 30 年度 村有林（鳥居峠神谷団地）搬出間伐事業

○事業費 2,905,200円

うち森林環境直接支援補助金（国・県補助金）：1,385,300円

○事業内容

村有林 鳥居峠神谷団地 搬出、切捨て間伐 5.57ha

カラマツ他 約 156 m³を搬出



搬出間伐施業前



搬出間伐施業後

【林道維持管理事業】

○事業内容

台風、大雨等による林道の崩落、倒木及び路盤浸食の復旧工事や林道周辺の草刈り等維持管理



作業前



作業後

豪雨災害に伴う林道崩落復旧事業



作業前



作業後

◆ふるさとの伝統と文化を守る

【お六櫛の材料確保に向けて取り組み】

伝統工芸品である「お六櫛」の保存伝承活動や材料確保に向けた調査研究事業。また、村指定文化財の標柱修繕事業などにふるさと納税寄附金を活用させていただきました。

「お六櫛」は木祖村荻原地区に約 300 年前から伝わる木櫛で、長野県の伝統工芸品として愛され続けています。



◆産業振興・村づくり全般

【プレミアム商品券事業補助金】

「木曽川源流の里」水の源として、水源地域に相応しい地域であるために、山村地域の魅力を損なわ村内における新規消費の拡大を図り、地域経済の活性化を促進するために、木祖村商工会が主体となり「源気くんドリーム商品券」事業を実施しました。

発行額（発行規模）	発行単価/枚 枚数/冊 単価	プレミアム 負 担	発行日 有効期限	取 扱 事業所数
30,000 千円 プレミアム分：6,000 千円 総事業費：37,623 千円 発行冊数 3,000 冊	500 円/枚 24 枚/冊 10,000 円	村 5,869 千円	7 月 1 日 7 月 1 日～ 12 月 31 日 (6 ヶ月間)	57 店舗 (55 事業所)

【こだまの森施設整備事業】（フットサルコート芝生化工事）

○事業費

フットボールコート人工芝化工事設計監理委託	3,456,000 円
// 人工芝化工事	49,140,000 円
// 照明設備設置工事	13,824,000 円

≪特定財源≫

スポーツ振興くじ助成金	46,160,000 円
-------------	--------------

○事業内容

木祖村のグリーンシーズンのリゾート地である「やぶはら高原こだまの森」に、新たに人工芝ソサイチコートを整備しました。この人工芝コートと夜間照明は、「スポーツ振興くじ助成金」を活用して整備したもので、人工芝ソサイチコートとしては長野県内で初めてのものです。ソサイチとは7人制サッカーのことで、今後活発に大会等が開催されることが期待されます。また、ソサイチコート1面にフットサルコートが2面取れるようになっており、こちらも競技人口が増加しているフットサルで多くの皆様に活用いただけます。合宿誘致や観光客の増加などを目指し施設を活用して参ります。



完成後

◆美しく豊かな自然環境と魅力的な景観づくり

【景観形成事業】

「木曽川源流の里」水の源として、水源地域に相応しい地域であるために、山村地域の魅力を損なわない、また多くの観光客の誘致を含め、森林整備等をはじめとした多くの景観形成事業を推進しています。平成 30 年度は観光地を中心に大きくなり倒木等の危険が増している立木の伐採事業にふるさと納税寄附金を活用させていただきました。

☆大原地区斜面環境整備事業

○事業費 1,080,000 円

○事業内容

木祖村大字小木曽 大原地区の村有地（雑種地）1.0ha の皆伐・地拵え工を実施。

地拵え後は、地元の自治会を中心に桜やハナモモの植栽を実施しました。



作業後

☆しらかば平別荘地立木伐採事業

○事業費 1,296,000 円

○事業内容

しらかば平別荘地は、昭和 40 年代に別荘地として造成し、約 80 軒の別荘建物が建立されている。近年では、シラカバの木が減少してしまいましたが、カラマツやアカマツ、ヒノキなどの針葉樹が大きくなり、木曽駒ヶ岳等の山々が望めず当時の景観を損ねてきております。

そこで、危険木を中心とした支障木を伐採し、別荘地としての景観整備を実施しました。



作業後



◆高齡者福祉、医療・健康増進の充実

【定期予防接種と、村独自の任意予防接種補助事業】

予防接種は、感染症にかかる前にワクチンによって免疫をつけ、感染症の発症を予防または、重症化予防することにあります。ワクチンで予防できる感染症が増えてきているため、国で定めた定期予防接種に対する補助と、村独自の任意予防接種に対する補助事業を実施し、重篤な感染症の予防及び、村民の経済的負担が軽減されるよう支援しています。子育て支援策の一環でもある小児任意予防接種補助事業は、保護者のみなさまからも、喜びの声が寄せられている事業のひとつです。

○平成 30 年度 予防接種補助事業

事業費 5,204,741 円

対象となる予防接種

区 分	小児関係	高齡者関係
定期予防接種	B 型肝炎、Hib・小児肺炎球菌、四種混合、麻疹風疹、BCG、水痘、日本脳炎、HPV	季節性インフルエンザ・肺炎球菌ワクチン（65・70・75・80・85・90・95・100 歳以上の方）
任意予防接種	おたふく風邪、妊婦と家族に対する風疹、ロタウイルス、季節性インフルエンザ	肺炎球菌ワクチン （65 歳以上 100 歳未満で医師が特に必要と認めた方）